

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 肺化膿症の特徴および予後に関する研究

〔研究機関名〕 聖隷三方原病院

〔研究機関の長〕 山本貴道

〔研究責任者〕 小谷内敬史（呼吸器内科・医師）

〔研究の概要〕

■ 目的・方法

研究期間：2024年11月19日～2026年3月末

目的：肺化膿症は、肺実質に生じた化膿性炎症を主体とする疾患です。発熱、咳嗽、喀痰、呼吸困難、胸痛などの症状に加え、敗血症を合併し、ショックや多臓器不全に至ることもあります。近年、高齢化や基礎疾患を有する患者の増加に伴い、症例数が増加しており、さらに重要な呼吸器疾患となることが予想されます。一方で、多数例の肺化膿症に関する報告は少なく、その臨床的特徴、経過、予後に関わる因子などは十分に検討されていません。本研究では、肺化膿症患者の臨床的特徴を明らかにし、予後因子を特定することで、肺化膿症の診断、治療、予後予測に役立つ知見を得ることを目的とします。本研究により得られる知見は、肺化膿症の診療におけるエビデンスとなり、患者の予後改善に貢献することが期待されます。

方法：後ろ向きに診療録を調査し、年齢、性別、併存疾患、臨床症状、画像所見、検査データ、治療内容、予後などの情報を収集し、統計学的に解析します。臨床特徴をより明確にするために同時期に入院した細菌性肺炎症例から年齢、性別、入院年によって 1:2 でマッチペアを作成し、比較検討を行います。

■ 対象となる患者さん

2016年1月から2023年12月に呼吸器内科に肺化膿症または細菌性肺炎で入院した方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：以下の臨床情報を診療録から取得します。

- ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、併存疾患）
- ② 血液所見（肝腎機能、白血球、ヘモグロビン、血小板、CRP）
- ③ 微生物学検査（痰培養、血液培養）
- ④ 画像検査所見（CT画像、単純胸部レントゲン写真）

- ⑤ 治療（歯科介入、手術、投与薬剤）
- ⑥ 治療反応性・予後、在院日数

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
呼吸器内科 小谷内 敬史
電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971